

平成26年度前学期 短期大学部（船橋校舎）「授業改善のためのアンケート」集計結果

I 集計結果について

| | 専門教育科目 | | | 3学科共通科目 | | |
|---------------------------------------------------|--------|-----|-----|---------|--------|------|
| | 建築 | 総合 | 化学 | 言語教育 | 共通基礎教育 | 教養教育 |
| 【Q1】授業は全体として満足できるものである。 | 4.1 | 4.0 | 4.0 | 4.2 | 3.8 | 4.0 |
| 【Q2】授業のすすめ方が適切で、わかりやすい。 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 3.7 | 3.9 |
| 【Q3】授業はシラバスに沿って行われている。 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.1 | 4.1 | 4.2 |
| 【Q4】よく準備して、熱意を持って授業を行っている。 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 4.0 |
| 【Q5】学生の反応や理解度を考慮しながら授業を行っている。 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 4.1 | 3.7 | 3.7 |
| 【Q6】授業が静粛に運ぶよう配慮している。 | 3.9 | 4.0 | 4.1 | 4.2 | 3.9 | 3.7 |
| 【Q7】授業は明瞭で聞き取りやすい。 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.2 | 3.8 | 3.8 |
| 【Q8】板書やプロジェクタなどの書き方・使い方は適切である。 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 3.8 | 3.7 |
| 【Q9】授業の難易度は適切である。 | 3.9 | 3.7 | 3.9 | 4.0 | 3.5 | 3.8 |
| 【Q10】この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間以外で学修にどのくらい取り組みましたか。 | 2.9 | 2.5 | 2.7 | 2.2 | 2.6 | 3.0 |
| 【Q11】現時点での授業への出席率。 | 4.6 | 4.8 | 4.9 | 4.7 | 4.6 | 4.5 |
| 【Q12】この科目を学ぶための必要な基礎知識を持っている。 | 3.5 | 3.5 | 3.7 | 3.6 | 3.4 | 3.5 |

※表の数字は学生が評価した以下の選択肢の平均値（小数点以下第2位四捨五入）

凡例 ①そう思わない ②あまり思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤そう思う

ただし、Q10は ①取り組んでいない ②1時間未満 ③1～2時間 ④2～3時間 ⑤3時間以上

Q11は、①30%未満 ②30%以上 ③50%以上 ④70%以上 ⑤90%以上

II 集計結果についての評価及び改善策等

①建築・生活デザイン学科

Q1～Q9の平均値は4点前後で概ね良好である。アンケート結果を詳細に分析すると、評価にバラつきがあり、低い評価をしている学生の意見にも真摯に受け止め、改善方策を検討する。また、アンケートの自由記述欄にある感想や具体的な要望を参考に継続的な授業改善を行う。

②ものづくり・サイエンス総合学科

Q9, Q10, Q12を除いて平均値は4点前後で概ね良好である。しかし、Q9, Q10及びQ12は、3.7, 2.5及び3.5とあまり高くなく、改善を要する。Q9は、学科内の5つの専門分野でそれぞれ評価結果を分析し、改善方策を検討する。Q10は、分野ごとに評価結果を分析し、当該授業科目担当教員に適切な学習課題を提供するよう要請する。また、Q12は、授業科目間の連携強化の方策を検討する。

③生命・物質化学科

Q5, Q9, Q12を除いて平均値は4点前後で概ね良好である。先の3項目は若干低く、基礎的な知識や学力を養成する方策が必要である。グループ担任制などを利用して学生一人一人の学習状況を把握するとともに、高校の教科書や問題集を用意して学生が利用に供している。また、学科事務室に教員が常駐し、学生の質問に対応するほか自習室を用意している。

④一般教育

平均値は4点前後で概ね良好である。しかしQ9の共通基礎教育（数学・物理系科目）は専門科目より若干低く、3.5となっている。これらの科目は理工系大学の基幹科目であり、これまでも入学前講座や補充教育などを行ってきたが、そうした補充教育的アプローチに加え、今後は科目別に詳細な分析を行い、「授業内容をわかりやすくする」ための改善を行う。